

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2019年6月7日）

■第1版 第2刷（2018年2月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758102179_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
2章-1					
40	表3脈圧	収縮期血圧と拡張期血圧との差。1回拍出量が多ければ大きくなり、動脈コンプライアンスが 高 ければ、つまり動脈が硬ければ、脈圧は 小さ くなる。	収縮期血圧と拡張期血圧との差。動脈 コンプライアンスが一定である場合 、1回拍出量が多ければ 脈圧は大きくなる 。 また、1回拍出量が一定である場合 、動脈コンプライアンスが 低 ければ、つまり動脈が硬ければ、脈圧は 大き くなる。		19/05/08
2章-4					
85	本文9行目	1.2秒 未満の場合は頻脈である	0.6秒 未満の場合は頻脈である		18/07/23
5章-1A)					
184	本文5行目	肺のコンプライアンス(硬さ)が 低下 し、	肺のコンプライアンス(伸展性)が 上昇 し、		19/05/08
5章-1C)					
208	図12右上	心陰影の拡大	両側肺野浸潤影		19/06/07
208	図12右下	両側肺野浸潤影	心陰影の拡大		19/06/07